

Kyushu University Campus Magazine

九大広報

50
MARCH
2007



九州大学



特集

歓迎！新入生

総長、学部長、「九大人」たちからのメッセージ
九州大学をこう使おう

CONTENTS

目次

歓迎！新入生

[特集]

■歓迎メッセージ

- 梶山総長から 1
- 学部長から 2
- 先輩たちから 8

九州大学をこう使おう

- 六本松キャンパスが 10
- 私達のスタートライン！ 11

健康科学センター

図書館を使い倒そう！

一まずは語学力

外国語学習施設利用のご案内

交換留学

サークル活動

伊都キャンパス紹介

●シリーズ「ふろんとランナ」

●五十回野口英世記念医学賞により

●第五十回野口英世記念医学賞を受賞

20

18

16

14

12

11

10

8

2

1

■海外オフィス便り
 カリフォルニアオフィス所長
 松尾 正人

「九大広報」第五十号記念

九大人たちから 後輩へのメッセージ

九州大学百周年記念事業

NEWS—大学の動き

告知板

新聞で報道された九州大学

「平成19年1月」

高麗대학교(韓国)

文学部4年 藤山 沙織

こんな本出しました

「九州大学庭球部百年史」

【著者】九州大学ローンテニスクラブ・九州大学硬式庭球部

37

シリーズ「九大生が案内する世界のキャンパス

高麗대학교(韓国)

文学部4年 藤山 沙織

NEWS—大学の動き

告知板

新聞で報道された九州大学

「平成19年1月」

29

30

34

35

36

37

23

●編集後記

表紙写真／合格！（平成19年3月8日の前期日程合格発表風景）

◎お読みになつてのご感想やご意見をお待ちしています。

◎投稿をお受けします。文字数は三〇〇字未満。手書きのものも受け付けますが、できればテキストファイルのフロッピーディスク又はEメールでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不適当と思われる原稿は掲載しません。

●九州大学関係者が本誌記事を転載する場合は、「九大広報第〇号から」と明記してください。学外の方は事前に事務までご連絡願います。

●「九大広報」は九州大学ホームページでもお読みいただくことができます。

●次号は、2007年5月発行予定です。

医学研究院教授
柳 雄介

リーダーよ、育て

九州大学総長 梶山 千里

長い間の努力を実らせて九州大学の一員となつた皆さんを、心から歓迎します。また、新九大人たちを物心両面から支えて来られた多くの方々へ、心からお祝いを申し上げます。

皆さんは九州大学で何をしようと思つていますか。私はまず「勉強しなさい」と申し上げます。皆さんは、勉強するために九州大学へ入学したのです。勉強は自ら行うものであり、させられるものではありません。勉強する場としての九州大学は、多くの優れた先生方の努力と工夫によつてたいへん充実しています。十二分に活用してください。

大学は社会生活の場でもあります。皆さんは九大生である前に一社会人であるということを忘れないでください。授業や研究、サークルや寮での生活、ボランティアなど様々な活動を通じて、また先生や仲間、先輩や後輩、そして大学内外の様々な

方々と接する中で、社会人としても成長してください。

私は皆さんに「リーダーシップ」を身につけていただきたい。「リーダーシップ」は、社会の中での人生を生き、その人の人生の有り様を決める大事な素養の一つです。問題を見つけ解決の道筋をつけることのできる人、多くの人の力や心を一点に集めることのできる人が、これから社会の様々な場所で必要になります。そのためには必要な幅広い知識や教養、人間としての力を、九州大学で身につけていただきたいと願っています。

(かじやま ちさと／高分子化学)





新たな第一歩を

稻田 俊明
(いなだ としあき)
専門分野…理論言語学

入学おめでとう。新たな第一歩を踏みだす諸君に、学問のよき伝統を継承し、通説を打破して新しい知の創造を目指し、日々成長して欲しいと思います。

人文学は、新奇で断片的な知識（トリビア）や技術を追い求めるのではなく、個々の事象の背後に隠れた法則や普遍性を探求します。人文学の叡智に触れ、人間の過去・現在・未来を深く省察することで、将来像を見直す転機や飛躍のチャンスを掴んで下さい。

人間を探求する人文学にも技術や方法があります。闇雲に答えを探しても求める答えは得られず、解決の道を照らす明かりが必要です。暗い夜道で大事な物を落とし、街灯の下だけを懸命に探している人に、「街灯の下をあなたが探すのはそこだけが明るいからだ。探し物がそこにある保証はない。明かりを増やして別のところを探すほうがよい。」と言った学者がいます。豊かな知の探求の技法を伝授するのを楽しみに諸君を待っています。

歓迎!

特集

新生

共に育つ 「きょういく」を めざして

教育学部長
野島一彦

(のじま かずひこ)
専門分野…臨床心理学



教育学部への入学を歓迎します。
安倍政権は、教育改革、
教育再生を最重要課題として位置づけ、教育について積極的に取り組んでいます。その背景には、学力低下、いじめや不登校の問題等があり、今まで日本の将来はどうなるのだろうという危機感があります。確かに教育は国の根幹であり、ここをしっかりと建て直すことが大事です。

教育学部は、まさにこの教育について学ぶところであります。教育学部は、大きく教育学系と教育心理学系に分かれています。多彩な教授陣が教育を担当しています。一般

に教育と言えば、「教師が学生に教えること」と「教師が学生を育てる」と理解されています。しかしながらに加えて、教育活動のなかで教師と学生が共に育つということも「きょういく」です。教授陣は、教育の諸問題について取り上げ、皆さんに教えたり育てたりするとともに、皆さんと一緒に考えたり話し合ったりしながら、共に育つ「きょういく」もめざしていくことを楽しみにしています。

「法を学ぼうとする者は、最初に法(jus)という語が何に由来しているかを知らなければならない。それは正義(justitia)から来ている。法とは善と衡平の術である。私たちは正義を育み、善と衡平を知っていることを自らの職分としている。

衡平と不正を区別し、適法と不法を見分けることによつて、罰への恐怖によるだけなく恩恵という励みによつてもまた善がもたらされることがあります。見せかけではない眞の知を追求することによって」…これは古代ローマの有名な法学者ウルピアヌスが述べた言葉です。今から一八〇〇年

程前に言われたことです
が、今日でもそのまま通用するのではないか。法を学ぶということは条文を暗記することではありません。また、法とは決して小手先の技術ではありません。法学部に入った皆

さんは、ぜひ「正義」「善」「衡平」が何であるかを学び、自分で考えて欲しいと思います。

法学部長
直江眞一

(なおえ しんいち)
専門分野…西洋法制史



法を学ぶとは？

疑問を持つことから始めよう

難関を突破して栄冠を勝ち取られた皆さんに、大学での学問を始めるに当たり、常に疑問を持ちながら考えて欲しいということを申しておきたいと思います。皆さんは、これまでの勉学において、実に沢山のことを学び、多くの知識を仕入れ、問題の解き方や解釈の仕方を学んできました。そこにはある確立された知識体系があり、それを使ってある答えを導くトレーニングを受け、皆さんはそこで良い成績を収めることができたのです。しかし、大学での学問には、問題の答えを見つけ出す方法やテクニックを学ぶだけではなく、方法そのものに疑問を持とうとする心構えが大切です。

皆さんのこれから的人生には、答えない世界が待っています。どうしたら問題が解決できるのか、その方法を考えることが必要です。真理の探究にもとづいてこの方法を考えるところが大学なのです。そのためには、確立された知識の体系にいつも疑問を持ちながら懸命に勉学に励んでください。そうすれば、大学での皆さん的生活は、きっと実り多く、豊かなものになることでしょう。

経済学部長

川波 洋一
(かわなみ よういち)

専門分野.. 金融論



大学で学ぶ

理学部への入学おめでとうございます。

理学部は、物理学、化学、地球惑星科学、数学、生物学の各分野で、自然の理を解明する学問を通じて、人類が培ってきた自然観を学び、社会の発展、地球環境の維持・改善に役立つ人材の育成を目指しています。新入生の皆さん、各々の専攻分野において明確な目的意識を持って、勉学に励まれることを期待しています。

また、大学が専攻分野での学問を達成する場であることと並んで、幅広い人間形成の場となることを期待しています。大学では多くの人々との巡り合いが可能です。良き朋・師と巡り合い、更には広範な人々および精神との巡り合いを可能とする書を通じて、これを達成されることを期待しています。

理学部での学生生活が有意義なものとなることを願ってやみません。

理学部長

宮原 三郎
(みやはら さぶろう)
専門分野.. 大気力学



歓迎!

特集

新生

医学部長
金出 英夫

(かないで ひでお)

専門分野..分子細胞情報学、
循環器薬理学、循環器内科学



勤勉なれ、 誠実なれ

御入学おめでとうございます。

生命科学科が誕生しましたので、
本年度から九州大学医学部は三学科
を擁する事になりました。新入生
諸君には、本学の輝かしい伝統を
継承し、人々に幸せをもたらす素
晴らしい医学者・医療者になつて
いただきたい、また、医学・医療
の最先端において国際的に大活躍
して戴きたいと思います。

世のため、人のためと思つて医
学を選んだ諸君は、一生にわたつ
て、医学・医療を学び、実践し、
進歩させる努力を続けねばなりま
せん。勤勉に学びましょう。また、
医学・医療の現場ではヒト同志の
誠実な関係が求められます。誠実
な関係の第一歩は、心のこもつた
会話です。礼儀正しい、丁寧な言
葉を話すことに心がけましょう。

九州大学医学部は、諸君が医学
者・医療者として大成するための
機会にあふれ、環境が整つていま
す。健康に留意し、大いに勉強し
てください。

*金出英夫医学部長の任期は三月三十一日
で満了となり、四月一日に高柳涼一(たかや
なぎりょういち)医学研究院教授が医学部
長に就任。

「楽しい」を
知ること
本当の

歯学部長
赤峰 昭文

(あかみね あきふみ)
専門分野..歯科保存学



新入生の皆さんご入学お
めでとうございます。受験
勉強から解き放たれた皆さ
んの心は沢山の希望で溢れ
ていると思います。私たち
歯学部の教員は皆さん的心
の中のひとつひとつの中の希望
の原石が少しでも明るく、
そしてより大きく輝けるよ
うにお手伝いできることを
願っています。しかし、大
学生生活が受験勉強に比べて
楽なことばかりだと勘違い
してはいけません。「楽しい」
と「楽」は字こそ同じですが
が、この二つの言葉は必ず
しも両立するものではない
のです。「楽」に流されるこ
となく、本当の「楽しい」
を知ることを求め、これか
らの大学生活を有意義なもの
にして欲しいと思います。
そのためにも、皆さんはこ

れから一回りも二回りも大きく成長する未完の大器で
あることを自覚しなければなりません。九州大学歯学
部では、学識や技能に加えて国際性豊かな歯科医療人
の育成を行つております。これから六年間
に冠たる歯学部を目指して、世界が皆さんにとつて眞の意味
で「楽しい」大学生活にならびに歓迎の辞といたし



薬学部長
樋口 駿
(ひぐち しゅん)

専門分野…薬物動態学

薬を創つて、使つて、育てよう

入学おめでとう。

臨床薬学科と創薬科学科の二学科制がスタートして一年が経過しました。講義の多くは、薬学教育モデル・コアカリキュラムに従つて進められています。コアカリキュラムとは、全国の薬科大学・薬学部が協力して、六年制教育に備えて作成したカリキュラムの指針です。九大薬学部のカリキュラムは、薬学教育モデル・コアカリキュラムに九大薬学部の理念を織り込んだものです。"薬が世の中に出るまでのプロセスは創薬科学科で、医

薬の適正な使い方に関する
は臨床薬学科で”。既に、臨

床薬学科の学生は、早期体験学習を経験しました。九大薬学部は、薬の誕生から医薬が使われる場面までを一貫して見渡せる教育環境を提供します。三年次までは、両学科の学生は一緒に講義を受けます。各学科の専門を身につけるのはもちろんですが、近視眼的見方に陥ることなく、両学科を見渡して下さい。二学科制は始まつたばかりです。新入生諸君！新たな薬学部作



工学部長
末岡 淳男
(すえおか あつお)
専門分野…機械力学

目的意識を持って、充実した学生生活を

工学は、社会や自然への影響を常に考慮しつつ制約された条件下でものを作りを具現化する学問で、文化の域を超えた世界的な価値観と自律的・継続的自己向上心を持つた、創造性豊かな技術者および研究者を育成することが工学部の目的です。工学には色々な専門分野があり、その要素を組み合わせることにより現代の文明社会の基盤が築かれています。さらに、医学、農学など他分野との連携・融合により新たな科学技術が創成され、これまで困難とされてきた問題が解決されようとしています。そうした科学技術開発を担う皆さんのが、専門分野の深い知識である専門力のみならず、部活動・ボランティア・社会を通して人間力の向上をも意識して、充実した学生生活を送ることを期待します。

歓迎!

特集

新生

ようこそ、芸術工学部へ。
受験の世界から新たな大学
の世界へ。

さて、皆さんは大学生になつたら何をしたいですか。そこで何を期待していますか。大学ではやりたい勉強に集中し、バイトをし、サークル活動をし、また大いに遊びたい…、それぞれにいろんな思いがあるでしょうね。でも、ただ勉強をして知識をため込む、バイトをして稼ぐ、遊んで楽しむ、だけでなく何をするにその取り組みの姿勢をはつきり持つてほしいと思います。つまり、これまで見えなかつた世界を見る眼を肥やしてほしいと思うです。私たちは世界をいわゆる五感というセンサーを通してみています。そのほとんどは視覚に頼っていると思うでしよう。しかし視覚以外の感覚機能が同時に働いて初めてものの形、大きさ、高さ、動きなどがみえてきます。決して視覚機能だけで世界が見えるわけではないのです。また外界を知るセンサーの数も反応

ます。

トをして稼ぐ、遊んで楽しむ、だけではなく何をするにその取り組みの姿勢をはつきり持つてほしいと思います。つまり、これまで見えなかつた世界を見る眼を肥やしてほしいと思うです。私たちは世界をいわゆる五感というセンサーを通してみています。しかし視覚以外の感覚機能が同時に働いて初めてものの形、大きさ、高さ、動きなどがみえてくる日がやってくれば、自分の進むべき道もみえてくるでしょう。私たちは、そのお手伝いをするためにお待ちしております。

新たな世界へ



芸術工学部長
安河内 朗
(やすこううち あきら)
専門分野…生理人類学

できる条件も非常に限られています。つまり他の生物がみる世界とは必ずしも同じではない、ということです。さらには同じ人間でも、その人がどのような常識というサンガグラスをもつかによってみえる世界が違います。こんなことを知るだけでも新たな世界を見る眼が豊かになります。大学生活を通して、常識という枠組みを打ち破って、見えないものがみえてくる日がやつてくれる、自分の進むべき道もみえてくるでしょう。私たちは、そのお手伝いをするためにお待ちしております。

農学のミッション



農学部長
今泉 勝己
(いまいずみ かつみ)
専門分野…栄養化学

農学部への入学、おめでとうございます。

九州大学農学部等では、昨年十一月にミッション「生命、水土、森、そして地球から学び得た英知を結集し、人類の財産として次世代へ伝え、人類と地球環境の豊かな共存を目指して、進化する農学を実現する。」を定めました。二十一世紀に入つて重点的に対応すべき農学を取りまく課題、「世界の人々と食料問題」、「水、環境、エネルギー問題」、「食の安全、安心に対する関心の高まり」、「グローバル化のさらなる進展とアジアの台頭」等が山積しています。農学のミッションのもとに、このような課題に対して皆さんと一緒に取り組んで行きましょう。

農学は、衣食住、人と地球の現在と未来を考える全方位の学問です。皆さんには、生命科学、環境科学、経済科学等の専門分野に加えて、自然科学や社会科学等の教養科目をしつかり身につけて頂きたいと思います。品格のある国際人としての素養を身につけることも大切です。皆さんの健闘を期待しています。





先輩から 歓迎メッセージ

NHK福岡放送局アナウンサー

井原 陽介

(いはら ようすけ)

法学部

平成十三年三月卒業

ご入学おめでとうござ
います。

早々で恐縮ですが、あなたは自分の将来の姿をどのように思い描いていますか？まだ分からぬといふあなた。これから一年が勝負です。九大ならではの一流の先生、頼りになる同級生、そして自由な時間をいい意味で使いこなして、なりたい自分を早く見つけてください。

焦るのには、理由があります。ビジョンが定まらなければ、何でも集まる「知の宝庫」を生かし切れないのであります。

私は学生の頃、アナウンサーか記者になろうと思つっていました。卒業後、ニュースや情報番組に関わつてきました。選挙や刑事裁判にはじまり、アジアとの関係、農村の過疎問題。さらに介護や年金。すべて放送で向き合ってきたテーマです。他学部の講義も含めて得た知識が、私のアナウンサー人生を支えています。そして今、共に番組を作り上げるパートナーとして、九大の知識はなくてはならない存在です。

九大での学びは、自分が社会でどう生きるかの糸口を与えてくれます。どうか自分なりの航海術で、広い学問の海を泳いでいきましょう。ご活躍を祈ります！



富士通株式会社 総合デザインセンター
カスタマー・ソリューションデザイン部
門間 琴恵
(もんま ことえ)
九州芸術工科大学 工業設計学科
平成十六年三月卒業



実家が北海道
なのに、なぜか九州大学を選んだ私。

なんでそんな遠いところに?!とみんなに聞かれますが、「たまたま行きたい学科があつて、なんとなく直感で。」としか説明しようがありません。

でもその直感どおり、学生生活の四年間は、とても素晴らしい経験となりました。福岡というエネルギーの高い土地柄と、全国各地から集まつたユニークな仲間に恵まれ、その後の人生をとても豊かなものにしてくれました。

社会人になって感じることは、私の先輩たちが、世の中でたくさん活躍しているということです。そういう方々との出会いがあったときは、本当にうれしくなります。仕事の席であつても、ついつい福岡のローカルな話で盛り上がりがつてしまったり。そして多くの先輩たちが、私と同様に母校を誇りに思っているのだなと感じます。
学生時代に描いた夢や理想を失わず、これからもがんばっていきたいと思います。

内藤 晴之

(ないとう はるゆき)

文学部哲学科

平成八年三月卒業



私が九州大学に入学したのは一九九一年、もう十六年前になりますが、今でもキャンパス近くを通ると、当時のことを懐かしくもリアルに思い出せます。

一般に、学生時代はかなりの自由に恵まれます。どんな授業を取るかも自由ですし、学業以外にサークルやアルバイトなどに熱中するのも自由です。

私自身は、海外インターンシップを運営する「アイセック」というサークルに入り、かなりの情熱を注ぎました。企業から賛助金を集めてイベントを開催したり、海外からの研修生を受け入れたりと、幅広い活動で得た経験は卒業後も役立ちましたし、一緒に活動した仲間とは今も定期的に飲む間柄です。このような、高校生の頃までにはなかなか経験できなかつた世界が大学には広がっています。しかし、自由だからと言つて無為に日々を過ごしていると、四年間などアツという間です。学生時代を充実させ、楽しく過ごすためにはとにかく自ら動くことが第一です。

少しでも興味を感じることがあれば、何にでもぜひチャレンジしてみて下さい。特に総合大学である九州大学は、多種多様なチャンスに恵まれています。卒業証書以外にどれだけの財産を得ることができるか、全ては自分次第です。

田中 嘉人

(たなか よしと)

農学部農学科

平成十四年三月卒業

入学おめでとうございます！

皆さんにはこれから大学生活が待っていると思うと羨ましい限りです。思い返してみると様々なことが経験でき、あれもやつたこれもやつた、と言える時代だつたように思います。それでも、もっと経験できたな、と後悔する部分もあるので、「興味のあることはとりあえず試してみる」。何にでも首をつっこんでみてください。失敗もあると思いますが、悪いこと以外は大学時代にやってみましょう。

さて、現在私は殺虫剤の研究開発を行っています。入学当初、昆虫にさほど興味はなかったのですが講義で「面白そう」と思ったのが昆虫に関連した仕事に就いたきっかけです。興味をもつたその時にもっと勉強しとけばよかつたのですが…。今仕事をしていて感じるのは、関係ないようと思えることも後になつて結びつくこと、必要になることが多いということ。どうやら目の前のことには前向きに取り組んだほうが良いようです。特に勉強に関しては入試で培った勉強癖があるうちに癖を維持するといいかもしれません。一度なくすとなかなか戻ってきてくれないので、なんとか維持して「遊びと勉学の両立」を目指してみてください。

それでは大学生活を楽しんで。



新入生

九州大学をこう使おう

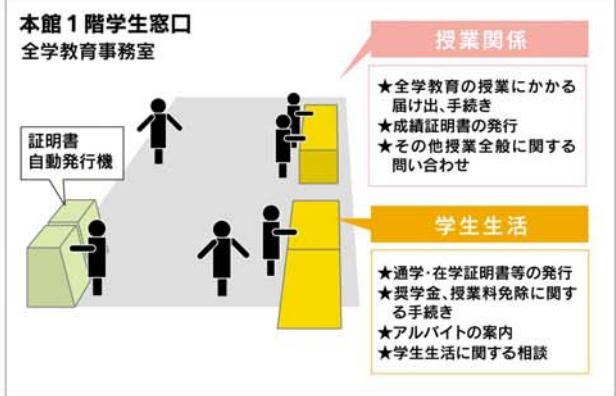
六本松キャンパスが 私達のスタートライン！

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。きっと、これから始まる大学生活に向けて期待や夢を膨らませてることでしよう。

さて、皆さんは、これから一年または、一年半は、主にこの六本松キャンパスで学びます。六本松キャンパスでは全学教育の授業を通して、社会の変化に強い柔軟な思考力を身につけ、さらに、深い教養に根付いた人格形成を目指していくことになります。

全学教育は、「読む、書く、調べる、発表する、討論する」等の基礎的な能力を育成する科目、人間性、社会性、国際性を養う科目、高度なスキルと専門の基礎学力をつける科目など幅広い分野の科目が用意されています。詳しい説明や履修手続きは、皆さんにお配りしている「全学教育科目履修の

本館1階学生窓口
全学教育事務室



手引き」、「全学教育科目履修要項」を参考にしてください。きっと、皆さんに向学心に火を付ける魅力的な科目が見つかるはずです。

なお、学生生活全般（修学、経済支援など）に関するサポートの窓口を本館一階にを設けています。



すので、気軽に立ち寄りください。
(六本松地区全学教育事務室)

進学や就職などの、人生の転機となるような出来事を経験する際に、心身の健康を損ないやすいことが知られています。大学入学後に生じやすい五月病などもその例です。新しい生活環境に適応するまでは、精神的にも肉体的にも疲れがたまり易いものです。大学入学は、喫煙や飲酒などの、その後の健康に悪影響を及ぼしかねない習慣を身に付ける契機にもなります。また、初めての一人暮らしでは、外食に頼りがちになり、栄養が偏り、体調を崩しやすくなることでしょう。充実した大学生活を送るために、心身ともに健康であることが大切です。

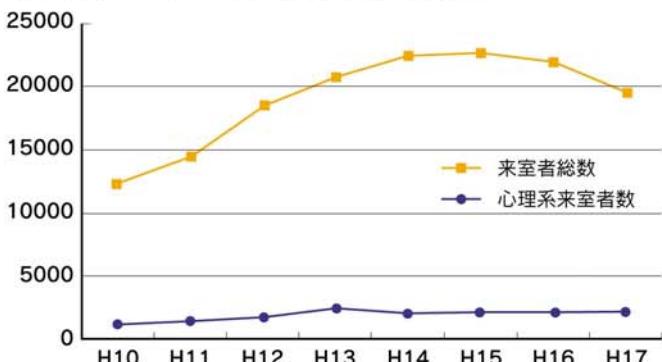
心身の健康 健康科学センター

九州大学健康科学センターでは、内科医・心療内科医、精神科医、カウンセラー、保健師・看護師などの教職員が、学生や教職員の方々の心身の健康管理をサポートしています。図に示すように、近年の利用者数はかなり増加傾向にあり、総受診者数は平成十年の二倍近く、心理系の受診者数は二・五倍にもなっています。気になることがあれば、どうぞ気軽に各キャンパスにある健康科学センターを利用してください。

(健康科学センター教授入江正洋)

九州大学健康科学センターでは、内科医・心療内科医、精神科医、カウンセラー、保健師・看護師などの教職員が、学生や教職員の方々の心身の健康管理をサポートしています。図に示すように、近年の利用者数はかなり増加傾向にあり、総受診者数は平成十年の二倍近く、心理系の受診者数は二・五倍にもなっています。気になることがあれば、どうぞ気軽に各キャンパスにある健康科学センターを利用してください。

健康科学センター受診者数の経年的推移



図書館を使い倒そー！

でもやつぱり、足を運んでみよう

りよせなど、様々なサービスをWeb上から利用できます。

出前講習会を利用しよう

図書館では、グループやゼミに図書館員がおじやまするオンライン講習会を随時行っています。クラスや任意のグループで利用できますので、図書館サービスについてもつと知りたい、データベースの使い方を教えてほしい、など、お気軽にお申し込みください。

まずは、九大図書館のWebサイトを覗いてみよう

図書館のWebサイトは情報の宝庫。各種データベースや様々なツールを使って、世界中の膨大な学術情報へ効率よくアクセスすることができます。図書や雑誌を探し、テーマに沿った論文を入手する、事典や新聞で調べる、など、様々な用途に大いに活用してください。

MyLibraryに登録しよう

図書館ポータルサイト（きゅうじゅうかんぽータルサイト）（MyLibrary）。返却期限の延長や借りた本の履歴確認、他キャンパスや他大学に所蔵する資料の取



「六本松分館」



「中央図書館 情報サロン」

六本松分館【開館時間】月～金 9:00-20:00
(試験期は22:00)
土日祝 10:00-17:00

中央図書館【開館時間】月～金 9:00-22:00
土日祝 10:00-18:00

※開館時間の変更や臨時に休館することがあります。詳細はHPをご確認下さい。

たいがいのことはWebからできるけれど、歴史ある膨大な資料に囲まれる、他人の勉強ぶりに感化されて机に向かう、そんな緊張感や喜びも大学図書館ならではです。自由にパソコンが使える情報サロンやAVブースなど様々な施設も充実していますので、ぜひ図書館で思い思いの時間を過ごしてください。

大学では、溢れる情報をどう使いこなすかが決め手です。図書館のサービスを使い倒して、実り多い大学生活を送ってください。

一まずは語学力

外国語学習施設利用のご案内

学習室利用案内

●六本松LL教室/情報学習室

2006年10月、第2・第3LL教室に計150台のパソコンが新設されました。同時に整備された情報学習室・既存のLL教室と合わせ、約250台の端末が外国語学習用に利用できます。「ネットアカデミー」等オンライン教材を用いた学習に活用してください。情報学習室(40台)は自習専用となっており、終日利用可能です。この他、DVD/VHS等資料の視聴覚教材も豊富に取り揃えていますので、お気軽にLL準備室まで問い合わせてください。

【場所】 六本松キャンパス1号館2階
(120、121、122番教室、情報学習室)

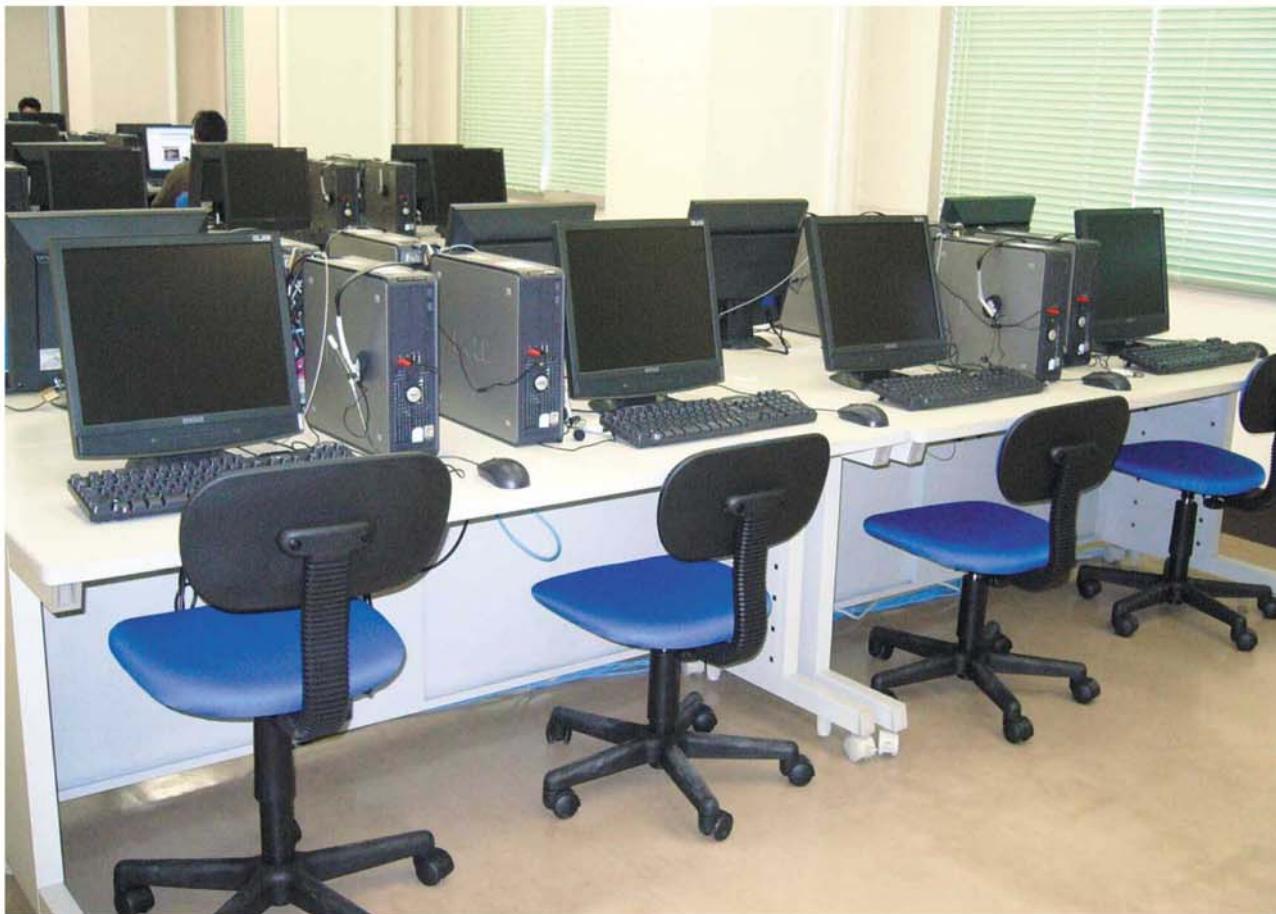
【問合せ先】 LL準備室
(平日8:30-15:30 昼休みを除く)
TEL&FAX : 092-726-4703
E-mail:call@flc.kyushu-u.ac.jp

●言語文化研究院箱崎分室

箱崎分室は主に高年次学生のみなさんを対象にした語学学習の場です。六本松地区で学習した外国語により磨きをかけるための実践的、実用的な授業が目的別に行われています。授業は原則学部生向けですが、定員に余裕がある限り大学院生、教職員にも開放しています。また、語学学習のための自習室として情報室とLL個別学習室がありますので、CD-ROM、テープ、ビデオ教材を使って自分に合った語学学習を行うこともできます。

【場所】 箱崎キャンパス 正門より入ってすぐ左
(旧法文学部棟2階)

【問合せ先】 大学院言語文化研究院 箱崎分室
(平日8:30-18:00)
TEL&FAX : 092-642-2285
E-mail : flcbr@flc.kyushu-u.ac.jp



2007年度前期開講案内（2007年4月9日（月）より授業開始）

【重要】2007年度入学の新1年生のみなさんへ

※箱崎分室の英語科目は原則として2年次以降の学生を対象としているので、みなさんは受講できません。
英語科目以外の授業については「入門〇〇語」と表示された科目のみ受講可能です。

言語文化自由選択科目（学部生優先ですが、院生・教職員も定員内一定枠で受講可）

1.英語科目の申込方法

（1）プレイスメントテスト受験 ⇒ レベル判定 ⇒ 申込み用紙記入 ⇒ 先着順に受講登録

プレイスメントテスト日程

4月4日（水）	(1) 9:00-12:00	(2) 13:00-16:00	(3) 18:00-21:00
4月5日（木）	(4) 9:00-12:00	(5) 13:00-16:00	(6) 18:00-21:00
4月9日（月）	×	(7) 13:00-16:00	×
4月10日（火）	(8) 9:00-12:00	×	×

場所：言語文化研究院箱崎分室208教室

注1: 1)事前の予約や申込み手続きは必要ありません（遅刻した場合は、次の回のテストを受験してください）。

2)1回の試験の受験定員は先着50名まで。

3)このテストはレベル判定ですので不合格はありません。

4)原則として、判定されたレベル（1～5まで）と同等、又は1つ下のレベルの授業を申込むことができます

（但しレベル5の学生はレベル3の授業のみ申込み可能です）。

注2: 過去2年間（2005年4月以降）、ID番号15,500以降のテスト結果は有効です。

（2）過去2年間のTOEFL、TOEICスコアでもプレイスメントテストの代用は可能です。

その際必ず証明書を持参の上、箱崎分室にて提示をお願いします。

第1次受付期間：4月2日（月）9:00～4月13日（金）17:00 最大2科目申込み可。

第2次受付期間：4月16日（月）～4月20日（金） 定員に空きのあるクラスのみ3科目追加申込み可。

2.初修外国語科目の申込方法：ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国語・スペイン語・インドネシア語・イタリア語・オランダ語・エスペラント

申し込み用紙記入 ⇒ 先着順に受講登録（受付時に受講が確定）

受付期間：4月2日（月）～4月20日（金）

2007年度前期時間割

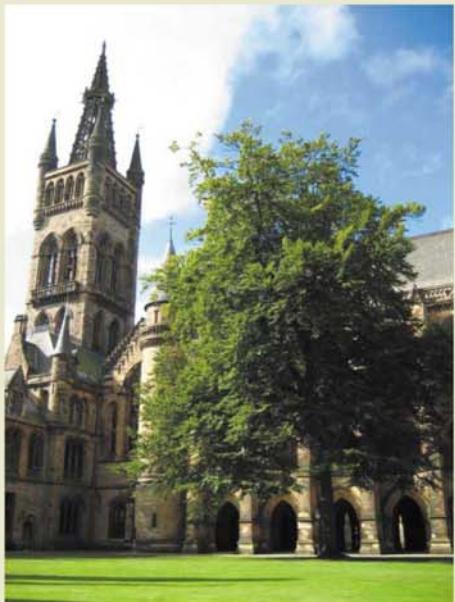
時限	月	火	水	木	金
1	英語会話II (Anscomb-lino)	英語リスニングII (Anscomb-lino)	英語リーディングI (稻葉美) 入門中国語 I (李麗)		英語ライティングI (Gale)
2	英語リスニング I (Anscomb-lino)	英語会話II (Anscomb-lino)	英語リーディングIII (大谷) フランス語読解コース (阿尾) 中国語聞き取り I (李麗)		英語会話II (Gale)
3	入門フランス語 (森茂) 入門ロシア語 I (佐藤正)			入門インドネシア語 I (遠藤)	
4	英語会話 I (*) (ホール) (伊都地区共通第15講義室) 入門イタリア語 I (スリス)				英語プレゼンテーション I (*) (ホール) (伊都地区共通第15講義室) 入門韓国語 (朴)
5	英語テスト・ティキング(*) (ホール) (伊都地区共通第15講義室) ドイツ語オーラル演習 II (カスヤン) 総合スペイン語演習 (山村)	ドイツ語中級 I (田中俊)	英語リーディングII (アームストロング) ドイツ語表現演習 I (田畠)	英語会話 I (ベネット)	英語語会話II(*) (ホール) (伊都地区共通第15講義室) フランス語実用会話 (ホスーシュ)
6		英語リーディング I (小松)	英語ライティングII (アームストロング) 入門スペイン語 (柿原)	英語プレゼンテーション I (ベネット)	英語テスト・ティキング (クイン)

《集中講義》◎速修オランダ語 I (田中俊、8月予定、六本松地区開講) ◎速修オランダ語 II (田中俊、8月予定、六本松地区開講)
◎速修エスペラント I (田畠、8月予定、六本松地区開講)

外国で学ぼう 交換留学

九州大学では、交換留学に「留学先での授業料が不要」「優秀者二十数名に奨学金や渡航費補助が用意される」などの有利な条件を整え、九大生の留学を応援しています。二〇〇四年度からは、アジア留学を支援するため、アジア学生交流プログラム（A S E P）を開始しました。その結果、毎年四十～五十人の学生が、交換留学生として、半年から一年間、学生交流協定を結んでいるアメリカ・イギリス・中国・韓国等の大学で勉強しています。

（36ページもご参照ください）



グラスゴー大学のサウスキャンパス



留学生仲間とハイランドへ登山に（筆者左から二人目）

グラスゴー大学（イギリス）

法学府修士2年 直村 有己

グラスゴーの冬もようやく終わりをつけようとして、木々にも鮮やかな緑が戻って来る。スコットランド南西部にある同都市は、最近ではサッカーの中村俊輔選手の活躍で脚光を浴びている。北緯56度の位置にあり、冬の気候こそ海洋の影響でそれほど寒くはないが、夜が恐ろしいほど長いのでこれほど春を待ちわびたことは今までになかったかもしれない。もっとも、こちらの伝統的なスタイルのパブに友人達と足繁く通う楽しさは冬であろうとも変わらなかった。

この留学の前から懸念していたことはスコティッシュの訛りの強い英語であり、それは実際になかなか聞きづらいところもある。例えば、彼らはTの音をあまり発音しないようで‘bottle of water’が「ボル・オヴ・ウォラ」の様になってしまふ。

またこの留学は新たな発見の連続もある。500年以上の歴史をもつグラスゴー大学は、大陸からの歴史的影響を受け続けたまぎれもなくヨーロッパの一大学であり、そして明治期に多くの留学生を送り出した日本にとっても縁ある場所でもある。

タマサート大学(タイ)

法学部四年 稲吉 彩弓

私は、就職活動を終えた二〇〇六年八月から十二月にかけて、九大の交換留学制度、アジア学生交流プログラム(ASEP)によりタイのタマサート大学に留学しました。

タイでは、英語が殆ど通じません。大学内では辛うじて通じるもの、一歩外に出ると英語表記は殆ど無く、タイ語のみの生活となります。留学する前の私のタイ語能力と言ふと、ゼロに等しく、留学して間もない頃は食べ物を頼むことすら難しく苦労しました。

ただ、数週間するとタイ語も片言でも通じるようになり、地元の人とタイ語で会話出来たり、メニューが読め、暗号を解いたような気持ちになり嬉しかったのを覚えていました。タイの人もこちらがタイ語で話しかけると、打ち解けてくれ、時には普通より値段を安くしてくれたり、一時間位話し込むこともありました。女人だと思って話しかけたら実は男の人だったなんてこともあります。タイらしい経験ですね。

滞在中にはクーデターが起き、一時はどうなるかと思いましたが今では歴史的出来事に立ち会えたと思っています。この経験も含め、私のタイでの留学生活は非常に充実していましたと思います。

是非、就職する前の大学生のうちに一度外国に留学されることをお勧めします。必ず一回りも二回りも成長出来ると思います。



北部メーホンソンにある首長族を訪ねた時の写真。私自身も首に輪をつけてみましたが、非常に重かったです。(右が、稻吉さん)



授業のフィールドトリップで北部チェンマイに行った時の写真です。友人と共にタイ少数民族の帽子を被っています。(左が、稻吉さん)

九州大学国際交流部ホームページ(<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/>)には、留学に関する情報が豊富に掲載されています。

留学についての問い合わせは、下記までどうぞ。
国際交流部留学生課（箱崎地区中央図書館向かい側）
TEL 642-2141
E-mail:ryugaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

サークル活動

大学の公認を受けて活動しているサークルは、文化系・体育系サークルを合わせると約160。

5,000人を超える学生が日々、活発に活動を行っています。

新入生の皆さんも、サークルに入って、新たな自分探しをしてはいかがでしょうか。

◎九大ESS

English Speaking Society (以下、ESS) では、「仲間と共に楽しい活動を通して英語力を向上させよう！」をモットーに、精力的な活動を行っています。ここでは私たちの活動について紹介させていただきますので、ぜひサークル・部活動選びの参考にしていただけたら幸いです。みなさんが素敵な大学生活を送れることを願っています。

九大ESSでは現時点で総勢30人程のメンバーが在籍しています。学部・学年などは様々で、文系から理系、新2～新4年生まで非常にバランスよく分布しています。ひとつのサークルに在籍しているながら色々なメンバーを友達や先輩に持つことができるのには、私たちの活動はもとより、大きな魅力のひとつとなっています。

活動内容については以下の3つが中心となっています。即ち、(1)全部員対象の「Weekly活動」、(2)各部員に割り当てられたセクション毎に行われる「Section活動」、(3)FSEA (福岡学生英語連盟) の主催する「他大学との交流イベント」です。「Weekly活動」ではゲームなどを通じて楽しく英会話を学んでいき、また一方で「Section活動」ではディベート

やディスカッションのグループなどに分かれて、各自が大会に結果を残すことを目指して練習に励んでいます。どれも楽しくやりがいがある活動なので、みなさんのチャレンジを心よりお待ちしています。



ESSでは以上で紹介した活動のほか、長期休暇を利用した合宿や学園祭への出店、「Section活動」に関連したセミナー・ワークショップの開催など、まだ楽しくやりがいのあることが盛りだくさんです。この記事を読んで興味をもたれた方は、ぜひお気軽にお問い合わせ等してみてください。

部長 田北 翔 工学部3年

連絡先 : t-shogun@docomo.ne.jp(E-mail)

ESSのホームページ :

<http://qess.fc2web.com/frame.html>

■文化系サークル 主な成績

対象団体	大会名	
	成績	対象者
舞蹈研究部	第35回全九州学生競技ダンス選手権大会	
	1位	団体
放送研究会	平成18年度九州学生放送連盟作品発表大会	
	最優秀	団体
百人一首 愛好会	第24回全国小倉百人一首かるた競技宮崎大会A級	
	3位	川原 泰嗣
囲碁部	第5回全日本学生囲碁王座戦(九州地区)	
	1位	渡辺 佑介
将棋部	平成18年度春季九州学生将棋大会	
	優勝	団体
	平成18年度秋季九州学生将棋大会	
	優勝	団体



演劇部

ギター・アンサンブル部



探検部



茶道部

■体育系サークル 主な成績

対象団体	大会名		対象者
	成績		
アメリカン フットボール部	第30回九州学生アメリカンフットボールリーグ戦(1部)		
少林拳部	優勝	団体	
	平成18年度日本少林拳南日本大会 団体演武 一般の部 七星拳		
	優勝	団体	
航空部	第7回日本少林武術祭 散打 大学生の部		
	最優秀賞	阪本 篤史	
洋弓部	第19回西部学生グライダー競技会		
	優勝	団体	
硬式庭球部	第30回九州学生アーチェリー王座決定戦予選会(男子)		
	優勝	団体	
男子 ラクロス部	平成18年度九州学生夏季テニス選手権大会		
	優勝	柿原、徳重組	
女子 ラクロス部	第15回九州地区学生ラクロスリーグ戦		
	優勝	団体	
陸上競技部	第57回全国七大学対抗陸上競技大会 男子3000mSC		
	1位	下瀬 幸男	
	第17回全国七大学対抗女子陸上競技大会 砲丸投(4,000kg)		
	1位	青山 聰子	



ヨット部



空手部



女子ラクロス部



◎アメリカンフットボール部

日ごろより、大学関係者の方々には部の運営など、さまざまな面でご協力いただき部員一同心より感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。受験勉強から開放され、一息ついていることでしょう。その気持ちはとてもよくわかります。しかし、大学生活というものは、誰かから与えられるものではありません。自らやりたいことを探し、選び、行動を起こさなくては、何も始まりません。大学入学はゴールではなく、スタートなのです。4年後、振り返ったときに後悔の無いよう、この短く、貴重な時間を大切にしてください。

皆さんはアメリカンフットボールというスポーツ

を知っていますか。どこかで耳にしたことはあっても、実際に生で見たことのある人は少ないでしょう。しかし、アメフトを目の当たりにしたら、必ずそのおもしろさをわかってもらえると思います。そのため、是非とも一度グランドに足を運んでください。

私たちのチームPALOOKASは九州学生リーグを二連覇し、さらに上のレベルを目指しています。また、後援会やOB会といった団体に支援していただき、思い切って何かをやり遂げるには、とても恵まれた環境にあります。このような部活は九州大学にはなかなかありません。一緒に熱い日々を送りましょう。グランドで待っています。

Palookas主将 辰巳祐介 工学部4年

新キャンパス（伊都キャンパス）紹介

新キャンパス計画推進室 副室長・助教授 坂井 猛

統合型の新キャンパス づくりの背景

九州大学は、地球規模で変化する社会に対応するために最高水準の教育研究拠点を形成し、それをさらに発展させるため新たな改革を進めつつあり、新しく生まれ変わる九州大学の器として、二〇〇五（平成十七）年に伊都キャンパスが誕生しました。

新キャンパス 移転スケジュール

平成三年十月に福岡市西区元岡・桑原地区への移転を評議会決定して以来、学問の府としての学識と良識・見識に基づいて、環境や歴史的な遺産に十分に配慮し、ひとつひとつ慎重に解決してきました。新キャンパスの造成工事も順調に進み、残りは現在工事中の文系予定地及び農場四工区を残すのみとなりました。

また工学系の研究教育施設や再生水・エネルギー等の基盤整備も行われています。そして、二〇〇五（平成十七）年十月より工学系が移転し、本格的にキャンパス

第Ⅰステージ 平成17年度～平成19年度	第Ⅱステージ 平成20年度～平成23年度	第Ⅲステージ 平成24年度～平成31年度
工学系Ⅰ、Ⅱ 理系図書館Ⅰ	全学教育、比較社会文化、 言語文化、数理学研究院、 理学部数学科、 高等教育開発推進センター他 理系図書館Ⅱ	理学系(H26) 情報基盤センター(H27) 中央図書館(H29) 文系(H29、H30) 農学系(H31) その他(H31)
約4.3千人	約4.6千人 《基幹整備及び 新手法による整備》	約6.7千人

➡ 《用地再取得／平成25年度完了》 ➡



移転を終え、教育研究活動がスタートした工学系地区。

としての活動が開始されました。一方、JR新駅（九大学研都市駅）が設置され、福岡市により学園通り線の整備も進んでいます。

今後は、二〇〇九（平成二十二）年度に全学教育と比較社会文化研究院、言語文化研究院（六本松地区）が移転し、引き続き理学系、文系、農学系等が二〇一九（平成三十一）年度までに移転する予定です。



約750人が食事できる食堂は豊富なメニューで好評。
他にもコンビニや本屋が入る、生活支援施設「ビッグどら」。



日本人学生と留学生が同居する学生寄宿舎ドミトリーワーク

伊都キャンパスへの交通アクセス

福岡空港から



博多駅から



天神から



九州道から



唐津方面から



「ふろんとランナー」は、九州大学の研究の最前線をインタビューで紹介するシリーズです。

第1回目の今回は、ウィルス学の柳教授に、法学部4年の平山さんが聞きます。

麻疹ウイルスの研究により 「第50回野口英世記念医学賞」を受賞

医学研究院教授

柳 雄介
Yanagi Yusuke

●聞き手

平山 聰子（ひらやま さとこ）

法学部4年（平成19年4月に法科大学院に進学）

今も重要な感染症“はしか”

一まずは「第五十回野口英世記念医学賞」の受賞、おめでとうございます。最初に、この賞について少し教えていただけますか。

柳 ご存知のように、野口英世は黄熱病や梅毒などの感染症をアフリカやアメリカで研究した世界的に著名な医学者です。そこから感染症研究に重要な貢献をした人に与えられる賞が創設され、今回で五十回目を迎えます。

一柳先生は麻疹ウイルスの研究で受賞されたと聞いていますが、そもそも麻疹ウイルスとは何でしょうか？

柳 麻疹は一般的には“はしか”という名で知られています。ワクチンが登場し、先進国での接種率が九〇%以上になった今はそれほど怖い病気ではなくなっていますが、日本ではワクチンを接種しない人がおり、

多い年には年間十万人がはしかにかかり、そのうち数十人が亡くなっています。特に成人で感染すると重症になります。またワクチンが十分使われていない開発途上国を中心に、世界では年間三千万人がかかり、五十億人が亡くなっています。世界規模で見ればまだ重要な感染症です。

症なのです。

今回の受賞理由は麻疹ウイルスの受容体を見つめたことが主体ですが、私はこれまでの麻疹ウイルス研究全般に対する評価だと思います。麻疹ウイルスは面白い性質を持っていて、ウイルス研究全体にとってこの研究は重要なことなのです。受容体を見つけることはウイルス研究にとって重要なのですか？

柳 ウィルスは自分ひとりでは増殖できず、ほかの生物の細胞、いわゆる宿主の細胞に入つて増える必要があります。ウイルスが細胞に侵入するときに使うのが受容体です。ウイルスによって侵入できる細胞が違い、それを決めるのが細胞の受容体です。ですからウイルス研究には受容体を特定することがとても重要で、これを特定できれば感染を防ぐ方法も見つけることができます。

最終的にはウイルスの感染を防ぐことが目的ですから、受容体を見つけただけでは研究は終わりません。今は受容体の構造を詳しく調べ、麻疹ウイルスがどのようにして感染するかを研究しているところです。感染症を防ぐには二つの方法があつて、侵入するところで抑えるか、侵入してもウイルスが増えるのを抑えるか

です。ウイルスの性質を調べることで、これらの対策をどうすればいいかが分かってきます。

世界中にライバルが

一研究ではご苦労や失敗も数多いのではないかと思いますが。

柳 まず実験はほとんど失敗ですね。でも失敗を重ねて改良することが重要です。麻疹ウイルスの受容体も、長い間の試行錯誤の末に見つけ出したものです。正直、失敗は辛いものです。何度も「もうやめようか」と思いますが、それでも続けることが大事。常に考えていると、ふとしたことから思いつきや発見があります。あとは上手に気分転換すること。本などいろいろなものからヒントを得ることも多いものです。

一試行錯誤の間に世界のライバルが研究をねらっていることもあるのです？

柳 ありますね。世界中にライバルがいますから。みんな受容体が何なのか知りたいのです。今はゲノム情報が分かっているので正体が分かれば同じような実験が可能です。自分たちの仕事として認められるには、受容体を発見するだけでなく、研究

をもとに論文を書き、有名雑誌に掲載されないといけません。もしご他のライバルが私たちの実験結果を入手して、先に論文を発表してしまうとその成果になってしまいます。今回の一回の受容体は正式名称を「SLAM」または「CD150」と言いますが、論文を書くまでは研究室内でもずっと暗号で呼んでいました。「MVR」、麻疹ウイルスレセプターの略称です。

感染症研究の面白さ

一柳先生は小さい頃からウイルス研究者になりましたか？

柳 科学者になりたいと思つていました。高校で臨床医を志して医学部に入つたのですが、そこで感染症に興味を持つて研究の道に入りました。かつては感染症が人類にとっていちばん重要な病気でしたが、ワクチンの登場でまるで終わつたように考えられていました。けれども実際には撲滅されたわけでもなく、解明されていないことも多い。そうした風潮への反発もあつたと思います。

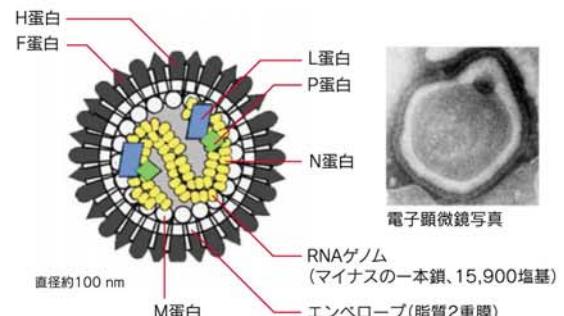
一それで日本では重要視されなくなつた麻疹ウイルスを研究されているのですね。

柳 はしかば人口三十万人以上の集

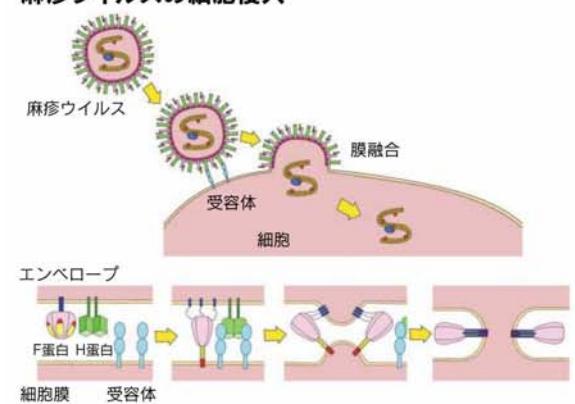


柳教授を中心とし、左は法学部4年の平山さん、右はインタビューに同席した七戸法学研究院教授（広報委員）

麻疹ウイルス measles virus バラミクソウイルス科 モルピリウイルス属



麻疹ウイルスの細胞侵入





団でないと存続しないと言われています。小さい集団で全員がかかる免疫ができてしまえば病気は終息します。ですから新しく生まれた子どもの病気なのです。人々が集まつて住む都市化が進んでからの病気で、文明とともに流行し始めた比較的新しい病気と言えるでしょう。また、世界にはアメリカのように野生の麻疹ウイルスが存在しない国もあります。そこでは、はしかにかかることは稀で、もしかかいたらウイルスの遺伝子を調べればどこの国の人かすぐ分かります。残念ながら日本は麻疹ウイルスの輸出国です。

—はしかのない国があるとは知りませんでした。そもそも麻疹ウイルスはどこから来たのでしょうか。

柳　はしかはもともと家畜の病気です。牛から人にうつったと考えられています。実際に犬の病気であるジステンパーは、はしかとよく似たウイルスです。最近話題になっている鳥インフルエンザも本来は野生の力モが持っているウイルスのひとつで、力モ自体はウイルスを持つていても病気になりません。ほかの鳥に感染すると発病します。ウイルスは自分ひとりでは生きないので宿主が死んでしまうと困ります。自分にも

人への感染が始まつたら、大流行を防ぐ決定的な手ではないでしょう。私は最も有効な手段は「教育」だと思います。昔は風邪をひいたらマスクをする、食事前には手を洗うといったことをエチケットとしてやっています。ところが今は世の中がきれいになつたせいか、あまりやりません。手洗いを徹底するだけでもノロウイルスはかなり防ぐことができますし、咳やくしゃみで広がるインフルエンザはマスクをすることでも人の感染が抑えられます。マナーとしての教育、病気にからならないいた

宿主にも影響のない状態がいちばん望ましいのです。

—鳥インフルエンザの話が出ましたので、ウイルスの専門家として感染予防のアドバイスをお願いします。

柳　もし鳥インフルエンザの人から

人への感染が始まつたら、大流行を防ぐ決定的な手ではないでしょう。私は最も有効な手段は「教育」だと思います。昔は風邪をひいたらマスクをする、食事前には手を洗うといったことをエチケットとしてやつていました。ところが今は世の中がきれいになつたせいか、あまりやりません。手洗いを徹底するだけでもノロウイルスはかなり防ぐことができますし、咳やくしゃみで広がるインフルエンザはマスクをすることでも人の感染が抑えられます。マナーとしての教育、病気にからならないいた

—鳥インフルエンザの話が出ましたので、ウイルスの専門家として感染予防のアドバイスをお願いします。

柳　もし鳥インフルエンザの人から

—今後はどのような研究をしていく予定ですか？

柳　ウイルスはひとつひとつ症状が違うのですが、なぜ違う症状を起こすのかまだよく分かっていないのです。人の体の免疫能など、さまざまな要素の組み合わせで病気の症状が出来ると考えますが、これを解明するのが研究者としての目標です。受容体が分かったのはあくまでスタートに過ぎません。今後は遺伝子操作をしたウイルスでさまざまな実験をしたり、ウイルスが細胞の中で増える方法を解明したり、新しいワクチンの効果を調べたりする研究が待っています。ウイルス研究にはまだまだ終わりがないのです。

—最後に同じ道をめざす後輩たち、特に新入学生たちにメッセージをお願いします。

柳　いろいろなことを広く勉強することが大切です。また、理系の仕事ですが語学はとても重要。学術書はほとんど英語で書かれていますし、論文や学会発表も英語です。まずは語学をしつかり身につけてください。

—宿主にも影響のない状態がいちばん

めの努力や工夫が大事だと思います。

今後、そしてメッセージ



—最後に同じ道をめざす後輩たち、特に新入学生たちにメッセージをお願いします。

柳　いろいろなことを広く勉強することが大切です。また、理系の仕事ですが語学はとても重要。学術書はほとんど英語で書かれていますし、論文や学会発表も英語です。まずは語学をしつかり身につけてください。

Kyushu University Campus Magazine 22

九大人たちから 後輩へのメッセージ



九大事務局内学生部での近藤（左）・高岩両氏（昭和28年）。お二人は、大学入試の統一模擬試験を運営したり、アルバイト委員会を組織したりして、多くの学生の学費や生活費を捻出した。

「九大広報」の「インタビューシリーズ・九大人」から、
後輩へのメッセージを集めました。
(順不同。肩書きはいずれも掲載時のもの。インタビュー全文は、
ホームページの「広報誌」でお読みいただくことができます。)



近藤 秋男さん

（全日本空輸株最高顧問・九州大学
東京同窓会会長・一九五四法卒）

仕事を一生懸命やっていると、
目的が見えなくなることがあります。目的と手段の区別がつかなくな
くなるのです。仕事は、何のためにやるのかはつきりつかんでか
ら取りかかる必要があります。

一段二段上に立つて、高いところから見渡さないと物事は見え
てこないし、そうすることで異つた答えを見つけることができる。

これは何事においても大切なこ
とです。

後輩の諸君に特に申し上げた
いのは、ぜひ、九州を飛び出して
日本、そして世界を視野に入れて
活躍する気概を持つていただき
たいということです。そうで
なければ、九州大学は九州の九大
に成り下がってしまいますよ。

(35号)

高岩 淡さん

（東映株社長・一九五四経済卒）

福岡は確かに田舎だが、どこ
の誰にも負けない熱い心がある。
それを大事にしてがんばれ。人
生はどこでどうなるか分からな
いものだ。自分が、映画という
「心に訴える共同作業」に辞めず
に携わってこれたのも、九大生
時代、アルバイト委員長などで

苦労した経験があつたからかも
しない。(18号)



田崎 雅元さん

(川崎重工業㈱代表取締役会長・
一九五八工卒)

Think globally, Act locally.

(着眼大局、着手小極)。

理系と文系の垣根を取り払い、
いろいろなことに好奇心を持ち、
幅広く知識を蓄えること。どんどん
雑学をやってほしい。何に
でも自分の得意分野との共通項
が見つかるものです。(43号)



池田 弘一さん

(アサヒピール㈱代表取締役社長
兼COO・一九六三経済卒)

本人の希望しない評価や待遇
は、人が人を評価するのですか
らあって当然のこと。それな
にそれを致命傷として挫折して
いくのは非常にもつたいないし、
自分を裏切ることです。他に評
価を求めず、自分はもっとやれ
ると信じて頑張らないといけな
いと思う。(40号)



ロバート・ファンさん

(米国SYNNEX corp社長兼CEO・
一九六八工卒)

まず世界で自由にコミュニケーション
してネゴシエートしていく
よう英語に熟達すること。次に
リーダーシップを取るのを恐れ



鮎川 誠さん

(ロックバンド「シーナ&ロケッツ」
リーダー・一九七四農卒)

るなどいうこと。どこの国の人
にも世界を舞台に活躍するチャ
ンスがあります。もっとオープ
ンでグローバルな意識を持ち、
改めて感じました。今君たちは、
仲間と語り、研究対象にぶつかっ
てもいいけるし、自由を手にしてい
る。思い切り羽ばたいてほしい。

(21号)



増田 信行さん

(三菱重工業会長・一九五七工卒)

学部時代の四年間で、基礎的な知識、人間としての素養、語学も含めて、そういうことをしっかりと学んでいただきたい。即戦力でなくともいいのです。



箱島 信一さん

(朝日新聞社相談役・一九六二経済卒)



今の若い人たちには、人生観、社会観、職業観といったものが希薄なのではないかと思われます。社会に出て、自分の仕事が喜ばれている、社会に貢献していると言える人になつていただきたい。知識知恵、情緒情熱、意識意欲、この「知情意」の三つが大切だと思います。(10号)

学部の在学期間は、たしかに四年間です。そこでつける知識といふのは限りがあるでしょう。それよりは、やはりものを考える習慣や、問題を設定する力をつけてほしい。そのためには常に物事に疑問を発することだと思います。

人は言葉で理解し、考え、伝える動物ですから、考える深さというのはその人の語彙の幅とりんくしているでしよう。そういう意味で、きちんとした言語能力をつけることが必要です。梶山総長がしばしば学生諸君に対して「本や新聞を読みなさい」ということを言っておられますがない大切な指摘だと思っております。(44号)

岡部 正彦さん

(日本通運株代表取締役会長・一九六一法卒)

一人でも多くの良き師、良き先輩、良き友を持つこと。これは大きな力、財産になる。高い志と強い使命感を持つこと。その志を実現するためには、長期的に幅広い視野に立つて活動することも大切。自分を律するものを持つこと。私が常に心がけているのは、正々堂々と信念を持つて、思いやりを忘れず行動することです。(45号)



元村 有希子さん

(毎日新聞「理系白書」取材班キャップ・一九八九教育卒)



学生のみなさんには、今しかできないことを欲張ってやってほしいと思います。たくさんの時間自分で自由に使える期間は、学生時代しかありません。本を読んだり、恋愛をしたり、何かに怒ったり感動したり、いろいろな事に興味を持つて、どんな欲にチャレンジしてほしい。それは、今が、一人の魅力ある人間としての感性を育てられる最後のチャンスだと思うからです。(46号)

かを決める。そういうものを身に付けるためにも、物事の本質を大づかみするような勉強をしておいてほしいと思います。（19号）



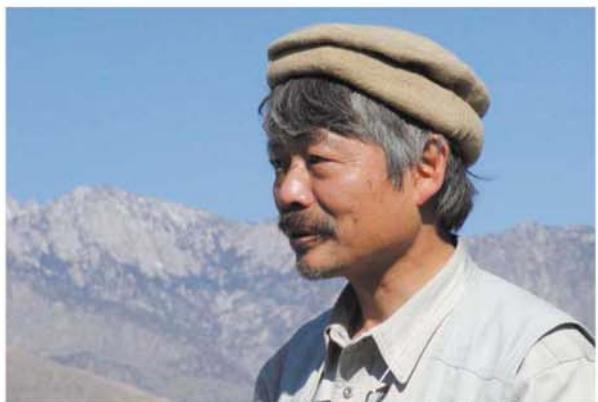
谷 福丸さん

（衆議院事務総長・一九六三法卒）

物事には、そうなっていることの道筋というものがある。それをよく見ることが大切です。基本的な大筋をしつかり押さえて、その上で自分の意見を堂々と/or>

中村 哲さん

（医師・ペシャワール会現地代表としてパキスタンやアフガニスタンで医療活動や干ばつ対策のための水源確保など幅広く活動・一九七三医卒）



自分のやりたいがあれば懸命にそれに打ち込んでほしい。学歴が通用するのは、せいぜい三十くらいまでです。実社会では、その人がどんな感性を持つていいが大事です。その感性が、その人が瞬時にどんな判断をする

今はそれが戦争につながっている。

そうした危機的状況の中で、人としてどう生きるかが問われている時代です。そのような時

代だからこそ、将来をしつかり見て、純粹な学問を追究していくことが非常に大切だと思います。本当の学問を極めていくこ

とができる大学はそうあります。私たちの持っていた価値観が大きく変わろうとしています。その人がどんな感性を持つていいかが大事です。その感性が、その人が瞬時にどんな判断をする

重渕 雅敏さん

（TOTO代表取締役会長・九州大学後援会理事長・一九五八工卒）

やるなら自分で納得がいくまで徹底してやる。仕事を通じて自分自身の成長を図るようにする、周囲にも認めてもらえるようになりますし、自分の意見も通るようになります。一度の人生ですから自分が満足できることをやる、自分のやることに禍根を残さない、こうした心がけが大切。（47号）





若田 光一さん

(宇宙飛行士・一九八七年卒、二〇〇四工学の博士号取得)

個人的にも社会的にも、これ

からいろいろな変化があると思

いますが、常につきりと目標を持ち、その目標を実現するための道筋を良く考え、失敗しても決して諦めずに努力すれば、その目標は必ず実現できると思

今企業は、画一的な組織の一員として有能な人材よりは、独創性のある、個人として自立している人材を強く求める状況にあるのではないか。

「職業とは何か」というと、経済的な基盤を得るということが一つですが、もう一つには自己実現という意味があると思います。自分の人生、自分の存在をどのように実現していくかということです。そのため、職業につく前に、いったい自分とは何なのか、この社会において何をやりたいのかということをよくよく考え抜くということ、自分を客観視してみる必要があるのであって思



(提供: NASA・JAXA)

古川 貞一郎さん

(内閣官房副長官・官僚機構のトップとして村山、橋本、小渕、森、小泉の五内閣を支えた・一九五八年卒)

学生に求められるのは、まず第一に物事を考え方抜く力。第二に、

今日よりは明日と何かに挑戦し続ける姿勢。第三がプラス思考

で失敗してもそれをプラスに考

える。世の中には苦しいことがあります。それをどのようにプラスに転化して自分のエネルギーにするかということ

が大切なのです。(27号)



川原 尚行さん

(医師・NPO法人「ロシナンテス」代表としてスーザンで医療活動・一九九二年卒)



私はたまたまアフリカで活動している。皆さんには皆さんで、日本にいてもできることはあります。その持ち場持つ場で一生懸命に、できることをきちんとやつていけば、「社会」としてはすごくいいものが出来ていくのだと思います。できることをして、胸を張つて生きていくべきだと思います。(48号)



九州大学百周年記念事業 (2011年) 「知の新世紀を拓く」

百年の伝統を基盤とし、知の新世紀を拓く。

これまでの百年は九州の地を中心
に、近代日本を支え、発展させる人
材、学部卒業生十二万人、大学院修
了生七万人を送り出しました。

九州大学は、平成十六年の国立大
学法人化を経て、平成十七年に新た
な伊都キャンパスへ移転を開始し、
新天地において新世紀の九州大学と
して、さらなる充実と飛躍をめざし
います。

また、伊都キャンパスは、新世紀
の九州大学の拠点であると同時に、
地域社会や産業・経済界と連携した
新しい学術研究都市づくりの拠点と
しての役割を担います。

今、九州大学は、世界が、そして人
類が希求する知を先導するべく、グ
ローバル化するアジアの学術リーダ
ーとして「知の新世紀を拓く」拠点
の構築をめざしています。



九州大学百周年記念事業実施体制

学内組織

九州大学百周年記念事業委員会

委員長 榎山千里(総長)

- 役割
- ・記念事業の実施方針及び
実施計画の策定
 - ・記念事業に係る募金(100億円)
 - ・記念事業推進会との連携

平成17年12月設置

学外支援組織

九州大学百周年記念事業推進会

会長 鎌田迪貞
(九州経済連合会会長)

[役員等就任目標2,000人]

- 役割
- ・法人(企業・団体等)募金事業
 - ・記念事業に関する助言等

平成19年2月設置



びに教育界、経済界、行政・地域社会
にわたる関係各位の絶大なるご支援
をお願いいたします。

九州大学百周年記念事業の概要

教育研究環境の 整備充実を図るための 九州大学基金の創設

優秀な人材確保に繋がる教育環境整備(新たな奨学金・国際学術交流助成を含む)財源確保のための、九州大学基金を創設します。

生涯学習時代に対応する 社会人等の受入れ推進事業

伊都キャンパスの移転にあたり、公開講座や
専門職大学院の受講等の社会人受け入れの場と
なり、併せて本学の情報発信基地の機能を有す
るサテライトキャンパスを創設します。

3 産学連携・地域連携等

伊都キャンパスに新たな拠点を形成し、企業
等との共同研究や受託研究並びに地域との交流
を促進する場となる関連施設を整備します。

4 國際交流推進事業

グローバル化時代を迎えた新世紀において
より一層国際交流を推進し、世界に飛躍してい
くために国際学会・シンポジウム・留学生や外
国人研究者等との学術交流の場となる関連施設
を整備します。

5 九州大学百年史の編纂と 記念式典・記念シンポジウム等 の開催

九州大学の百年にわたる歴史・伝統を記録に
留めるとともに、これまでの本学の教育・研究
成果を内外に積極的に公開します。

世界の研究者が集い 「水素先端世界フォーラム」

平成十九年二月一日(木)と二日(金)、世界から研究者が集まり、次世代エネルギーとしての水素を考える「水素先端世界フォーラム」が市内のホテルで開催されました。

このフォーラムは、水素材料の世界的な研究開発拠点「水素材料先端科学的研究センター」(Research Center for Hydrogen Industrial Use and Storage : HYDROGENIUS)が昨年七月、伊都キャンパスに設置されたことを契機に開催されたもので、水素社会の実現に不可欠な材料に関する研究者が一堂に会するフォーラムは世界でも初めてとなります。

同センターの施設は今秋完成の予定ですが、九州大学と独立行政法人産業技術総合研究所(産総研・吉川弘之理事長)が連携して取り組む最先端の研究に期待して、三百名を超える方が参加しました。

「福岡水素エネルギー戦略会議」(平成十六年八月設立・会員約三百八十機関)の羽矢惇会長(新日本鉄エンジニアリング社長)、梶山千里九州大学総長、川口修九州経済産業局長、麻生渡福岡県知事が、フォーラムへの期待を述べたのに続き、トヨタ自動車、シエル・ハイドロジェン、エア・リキードの各社が、燃料電池自動車開発や水素社会実現に向けた取り組みを紹介。午後は、水素材料先端科学研究センター長の村上敬宜九州大学副学長をオーガナイザーに、日・仏・米・中の研究者が、水素関連新技術開発の最新研究成果を紹介しました。

また二日(金)には、九州大学伊都キャンパスを視察した後、現地で水素材料に関するワーキングショップが行われるなど、水素社会実現に向けた戦略や知見が世界から紹介される有意義な二日間となりました。



「理系への招待」 女子中高生向け出前授業



福岡教育大学附属福岡中学校の生徒さんを前に

九州大学では平成十八年度文部科学省委託「女子中高生理系進路選択支援事業」に採択され、自然科学分野で将来活躍する女性の裾野を広げるため中学校・高等学校において女性のロールモデルを紹介する出前授業を同窓会組織と連携して平成十八年十二月から平成十九年二月にかけて実施しました。本学の現役教職員、大学院学生、卒業生が中高生を前に中学・高校の頃の関心の対象、進路選択の経緯、現在の仕事の魅力について講演しました。

これまであまり理系に関心の無かつた中高生の方からも「自然科学に色々な分野、職業があることを知つて視野が広がった」との感想を多数頂きました。また、これと並行して理系出身者二十名を紹介する小冊子『科学の未来は女性が拓く』を作成し、配布しました。詳細は以下のURLを参照ください。

<http://www.srp.kyushu-u.ac.jp/rkeisnro/index.html>

東京同窓会 平成19年 新年賀詞交歓会開催される

東京同窓会新年賀詞交歓会を平成十九年一月十七日(水)学士会館で開催し、梶山総長、柴田理事他九名のご来賓をお迎えして、総数二百三十名が集うパーティとなりました。

OBのマンドリン演奏の後、会長、総長のご挨拶で開宴、アサヒビール、紅乙女酒造、同窓会連合会に寄贈の美酒に酔い、満席の会場は活気と熱気に満ち、交流が進みました。

柴田理事から「百年記念事業及び記念事業の後援組織「百年記念事業推進会」の設立準備状況についての報告があり、出席者皆さんが記念事業推進会の役員として協力していた大団結が全員の拍手で決まりました。

寮歌、学生歌斉唱では岡部副会長自ら巻頭言を担当し、歌声は高く響きました。

田坂和義 東京同窓会理事長



岡部副会長のリードで学生歌斉唱



日中韓シンポジウム 「新しい連携と地域アイデンティティの形成にむけて」

平成十九年二月一日と二日、九州大学医学部百年講堂において「日中韓シンポジウム」が開催されました。メディア文化、産業、医療、高齢化などが専門の日本、中国、韓国の研究者や実務者四十名余りが最新の研究成果などを報告し、議論しました。これだけ多分野にまたがる日中韓のシンポジウムはほとんど前例がなく、全国紙各紙、NHKなどに報道されました。一般市民の関心も高く、二日間で延べ約五百名が参加しました。

初日の基調講演で、蒋立峰・中国社会科学院日本研究所所長と洪潤植・東国大

学校日本学研究所所長はともに、日中韓の共通点として「和の精神」を挙げ、蒋所長は「東アジア地域主義の発展」を提唱しました。二日目はボップカルチャーや、医療・生命倫理、産業連携、高齢化社会がテーマの四分科会のほか、臓器移植をテーマにソウルと北京の会場を結んでの三元同時会議が開かれました。二



九大医学部百年講堂の会場とソウル、北京の会場を結んで行われた、臓器移植をめぐる三元同時会議の模様



基調講演のあと、会場からの質問に答える洪潤植・東国大学校日本学研究所所長(左)と蒋立峰・中国社会科学院日本研究所所長



日中韓シンポジウムの講演に熱心に耳を傾ける市民

日間の議論を踏まえ、行政、産業界などに向けて、社会文化面などの共同研究、教育、メディアなど多分野での人的交流促進などの提言が採択されました。

今回のシンポジウムの成果を高く評価する韓国、中国の共催者からは日中韓シンポジウムを継続し、ようとの意思表示があり、本年後半にソウルで、来年には北京で開催する方向で関係者が準備を進めることになりました。

「次世代研究スーパースター養成プログラム」 スタートアップシンポジウム



平成十九年一月九日(金)、本学五十周年記念講堂で標記シンポジウムを開催しました。

同養成プログラムは平成十八年度文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的研究環境整備促進」に採択された事業であり、九大方式として「若手研究者の養成」「新研究領域の開拓」「組織改革」を盛り込んだ研究プロジェクト六つを厳選し、プロジェクトに参加する優秀な若手研究者を国際公募しました。シンポジウムでは採用されたスーパースター・プログラム（SSP）学術研究員（特任助教授）による研究紹介がなされ、有意義な意見交換・質疑応答の他、SSP学術研究員の今後の活躍に多大なる期待が寄せられました。

本養成プログラムの詳細は以下のURLを参照ください。

http://www.srp.kyushu-u.ac.jp/ssp_home/index.html

金駐福岡大韓民国総領事 退任の挨拶



平成十九年二月二十日(火)、駐福岡大韓民国総領事館の金榮昭(キム・ヨンソ)総領事が、退任挨拶のため梶山総長を訪問しました。

金總領事は、平成十六年二月の就任以来今日まで、「アジアに開かれた大学」としての本学の教育研究活動に理解を示し、金鍾泌大韓民国元國務總理講演会、羅鍾一駐日大韓民國特命全權大使講演会、李海瓊大韓民國前國務總理講演会の開催をはじめ、本学と大韓民国との学術・教育交流に、様々な面から貢献されました。

また、平成十八年九月には、農業や米をテーマとした論文で九州大学から博士の学位を受けています。

この日、金總領事は三年間の思い出や今後の抱負を語るとともに、九州大学が進める百周年事業への寄付を申し出、梶山総長はじめ関係者を感激させました。

なかでも、がん、心臓病、脳卒中やメタボリック症候群などの生活習慣病はその予防や早期発見が極めて重要であるとされ、本講座は「このような予防医学の関心の高まりに応え、一般市民を対象に開催されたものです。

九州大学医学部百年講堂で、平成十九年二月二十五日(日)に「生活習慣病に関する市民公開講座」が開催され、約四百名が受講しました。

貴方は自分の健康に自信が持てますか?」この問い合わせだけの人が自信を持ってイエスと答えられるでしょうか。

九大病院で 「生活習慣病に関する 市民公開講座」



開催の挨拶をする水田病院長

九州大学医学部百年講堂で、平成十九年二月二十五日(日)に「生活習慣病に関する市民公開講座」が開催され、約四百名が受講しました。



トークセッションを終えて。（左から）元村有希子さん、梶山九大総長、中村北大総長、毛利衛さん。

盛会だった「九州大学・北海道大学合同報告会」

平成19年2月22日（木）、2回目となる九州大学と北海道大学との合同報告会が「Innovation Challenge Forum 2007～大学の知を社会へ～」をテーマに、日本科学未来館（東京江東区）で開催されました。

◎挨拶と活動報告

九州大学の梶山千里総長と村上敬宜副学長、北海道大学の中村睦男総長と長田義仁副学長が、それぞれの大学の活動理念やこの一年間の具体的な成果を説明。文部科学省の徳永保研究振興局長が、「北大と九大には、50年先100年先を見据えた大学の有り様を提唱してほしい」と期待を述べました。

◎研究紹介

九州大学応用力学研究所附属力学シミュレーション研究中心の柳哲雄教授と、北海道大学低温科学研究所附属環才ホーツク観測研究センターの江淵直人教授が、いずれも「環境」をキーワードに、海洋調査などで得られた知見を報告しました。

続いて産学連携のシステムや起業の実際について、九州大学システム情報科学研究院の池田大輔助教授と、北海道大学創成科学共同研究機構の荒磯恒久教授が発表しました。

◎講演「大学への期待」

九州大学卒業の元村有希子さん（毎日新聞社科学環境部記者・2006年科学ジャーナリスト大賞受賞）と、北海道大学卒業の毛利衛さん（日本科学未来館館長・1992年9月スペースシャトルに日本人宇宙飛行士として初搭乗）が「大学への期待」をテーマに講演。「両大学は東京から遠い分思い切った改革ができるはず」「卒業生を世界に送り出し世界から人材を受け入れるべき」などと提言し、来年秋の宇宙ステーション長期滞在に向けて訓練

中の若田光一宇宙飛行士（九州大学卒業）からのメッセージを毛利さんが読み上げました。

◎トークセッション

講演の後、お二人に両総長を加えて、会場との質疑応答が行われました。会場で聴いていた結城章夫文部科学事務次官が「本当の力を備えたリーダーになり得るドクターの育成を期待しています」と発言する場面も。毛利さんが「ぜひ具体的な何かを両大学共同でスタートさせてほしい」と提案するなど、大いに盛り上がりました。

フォーラムに引き続き、両大学同窓会主催の交流会が催され、結城章夫文部科学事務次官の発声で乾杯して、多数の両大学OBが親睦を深めました。



交流会に出席した両大学OB。右端は結城事務次官。

九州大学開学記念

九州大学は、5月11日を「本学記念日」と定め、例年、開学記念行事を開催しています。
 今年は1911年(明治44年)の創立以来、96周年を迎え、
 開学記念行事として、5月9日(水)に記念講演会、
 5月11日(金)に記念式典、学内研究施設の公開など様々なイベントを予定しております。
 学内外を問わず、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

平成19年度開学記念行事概要

入場
無料

◆九州大学創立96周年開学記念講演会 [入場無料・要事前申込み]

日 時 平成19年5月9日(水)18時30分~20時(予定)

場 所 アクロス福岡イベントホール(中央区天神1-1-1)

式次第 ◎総長挨拶 ◎パネルディスカッション

◎記念講演会

講演者:中村 哲氏(ペシャワール会現地代表・九大医学部卒)

川原 尚行氏(特定非営利活動法人「ロシナンテス」理事長・九大医学部卒)

テーマ:海外での支援活動を通して



[講演会申し込み方法] 住所・氏名・職業(九大関係者の場合は所属・職(学年))、連絡先を記入して、FAX・メール・はがきでお申し込みください。後日、参加証をお送りします。定員(800名)になり次第、締切させていただきます。

講演者に質問があれば、申込みの際、お書き添えください。

◆記念式典

日 時 平成19年5月11日(金)10時~12時10分

場 所 創立五十周年記念講堂大講堂(九州大学箱崎キャンパス内)

式次第 ◎九大フィルハーモニーオーケストラ演奏 ◎総長挨拶

◎感謝状贈呈 ◎名誉教授称号記授与 ◎教員の報奨制度総長賞表彰

◎九州大学チャレンジ&クリエイションプロジェクト総長賞表彰・発表会

◎九州大学ロバート・ファン・アントレプレナーシッププログラム(QREP)発表会

◎財団法人九州大学後援会助成金授与及び助成事業発表会

◎アメフト部チアリーダーパート演技 ◎応援団演舞

◆学内研究施設の公開、伊都キャンパスツアー

一般市民・中・高校生等に対して、九州大学の教育研究内容を広く知っていただくため、5月11日(金)を中心に、研究施設等を公開いたします。詳細は本学ホームページ等にてお知らせします。

◎伊都キャンバスツアー(要事前申込み)

日 時 5月11日(金)13時 箱崎キャンパス集合 17時帰着

[伊都キャンバスツアー申し込み方法] 住所・氏名・職業(九大関係者の場合は所属・職(学年))、連絡先を記入して、FAX・メール・はがきでお申し込みください。後日、参加証をお送りします。定員(80名)になり次第、締切させていただきます。

九州大学ホームページ <http://www.kyushu-u.ac.jp/>

お問い合わせ 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学総務部総務課

TEL:092-642-2107 FAX:092-642-2113

E-mail:syskaigaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

ようこそ九大へ [表敬訪問]

駐日マラウイ共和国特命全権大使

平成19年2月15日(木)、駐日マラウイ共和国特命全権大使のルーズベルト・ラストン・ゴンドゥエ氏が、梶山総長を表敬訪問しました。

ゴンドゥエ大使は、九州大学に関する情報収集及び留学生の受入に関する意見交換のために本学を訪れたもので、本学の概要について説明があった後、留学生の受入制度や受入状況について和やかに意見交換が行われました。

また、マラウイ共和国からは、国際協力機構の国別研修として「マラウイの栽培」の研修生を本学農学研究院で受け入れており、これについても併せて懇談しました。



私は一〇〇六年二月から十二月まで、ソウル市安岩（アナム）にある高麗大学校で交換留学生として過ごしました。

高麗大学がある安岩の街は、遠くない位置にありながらも都会の喧騒から離れた、いかにも

“学生の街”といつた雰囲気を漂わせているところです。

大学では、午前に専門科目を受講しながら、午後は交換留学生向けに準備された語学プログラムで韓国語を学びました。専門科目では主に日文科の授業に

参加していましたが、韓国人学生の日本語能力の高さにはいつも驚かされ、またもつと「韓国語をうまく話せるようになりたい」という励みになりました。語学プログラムでは、日本にいたら会うこともなかつたかもしないというような様々な国の学生と韓国語を通じて交流を図ることができたことが良い思い出となりました。

また、大学内には、二十四時間いつでも利用できる自習室があつたり、パソコンの利用やDVD鑑賞のためのマルチメディアルームがあつたり、大学の施

設も学生をしつかりサポートしているようです。その一方で、

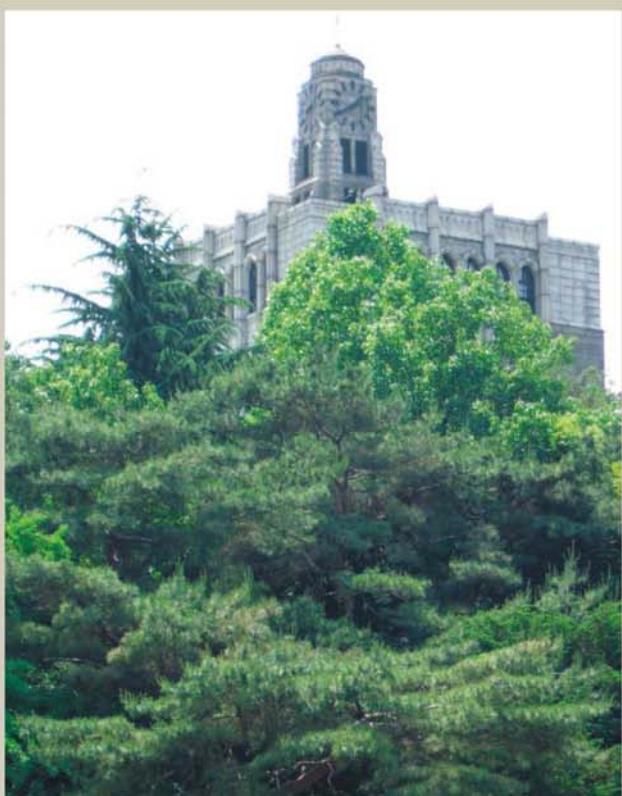
暖かい季節になると、学内の芝生にサークルや学科で集まりお酒を飲んでいる集団もいたりして、高麗大学の学生はよく遊びよく学んでいるという印象を受けました。

留学は、日本では体験できなすこと、出会わない人、様々なことに出会う絶好のチャンスだと思います。今、留学に少しでも関心がある人は、その実現に向けて考えてみてはいかがでしょうか。



同じ韓国語のクラスのクラスメートたち

九大生が案内する世界のキャンパス



学内でも歴史のある建物。毎朝9時にはこの時計台から校歌が流れます



高麗大学校は一九〇五年に創設された、ソウル大、延世大と並び有名な私立の総合大学。十九の学部からなり、特に経営学部は有名。キャンパスはソウル市安岩にあるソウルキャンパスと、忠清南道にあるソチョンキャンパスからなる。敷地内の景観はとても美しく、正門に入ったところの中央広場では写真撮影をしている人が絶えることがない。学内の施設も非常に充実していて、二十四時間利用可能な自習室などを備え、書店や飲食店、コンビニなどもあり、学内で充分に生活可能なほど整っている。

また、留学生の受け入れにも積極的で、交換留学生をサポートするKUBAという学校公認の団体があり、希望すればBUDYと呼ばれるチューターのような役割を果たす学生を付けてもらうことができる。

*交換留学について詳しく知りたい方は、「九大生のための海外留学情報」(<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/index.htm>)をご覧ください。
過去の交換留学生による報告書も大学毎にたくさん掲載しています。

1998年7月の創刊から足かけ10年、九大広報は本号で通巻50号です。創刊時のタイトル選定から係わってきた者として感慨無量です。この間、ずっと刊行のお世話をいただいた臼杵純一広報室長をはじめ広報室、編集委員の方々、常に温かいご声援をいただいた読者の皆様に感謝いたします。創刊号の表紙は、移転予定地の縁あふれる野山の航空写真でした。その後、研究院制度導入(2000年5月 第12号)など大学改革、九州芸術工科大学との統合(2003年9月 第31号)、国立大学法人九州大学の発足(2004年4月 特集号)、伊都新キャンパスの開校(2005年9月 特集号)など、その時々の九州大学の変遷をご紹介して参りました。その一方では一貫して「九大人」をキーワードに、様々な方々に紙面にご登場いただきました。NY Timesのように、All The News That's Fit To Print を心がけ、今後とも九大の色々な人々と営みを記録して行きたいと思います。

広報専門委員会委員長・理事 柴田 洋三郎

最近街を歩いていると、首都圏にある私立大学の地方受験の看板が目についた。地下鉄などに貼られているポスターを見ると、どこも大学のアピールがうまく、デザインも魅力的である。聞くところによると、いまやかなり多くの有名私立大学が福岡で地方入試を実施しているそうだ。優秀な学生も地方から首都圏、関西圏への一方通行になっているとすれば、九州大学もかなり足下を脅かされているわけだ。国立大学法人になったのだから、もっと広報に力を入れてブランド力を高め、双方向通行に持ってゆく努力をすべきではないか。広報誌も責任重大だと感じている。読者からのフィードバックが重要ですので、忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。

編集委員 末廣 香織

九大に勤務して2年、九大で働く“楽しさ”を実感しています。伊都キャンパスの開校や同キャンパスでの世界最高水準の研究をはじめとして、次々と新しい改革に挑戦し“進化”をとげていく九大、その活動と魅力を、九大広報を通じて、タイムリーに、分かり易く、できるだけ多くの人にお伝えできればと思います。また、5月には恒例の開学記念行事を開催します。本学OBの中村哲さんの講演会や、研究施設の開放、伊都キャンパスツアーも企画しておりますので、この機会に是非、“生の九大”もご覧になってください。

編集委員・総務課長 塩田 剛志

九大の最新情報は「九大広報」の定期購読で

九州大学同窓会連合会では、九州大学の姿をご理解いただくため、同窓生や在学生のご家族の皆様をはじめ、広く一般の方々にも「九大広報」の定期購読をお願いしています。定期購読は1年間6巻分(隔月発行)として、3,000円にてお受けいたしておりますので、ご希望の方は、同窓会連合会事務局までご連絡をお願いします。

●九州大学同窓会連合会事務局

TEL:092-642-4328 FAX:092-642-2113
E-Mail alum.uok@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

こんな本 出した



●書名 九州大学庭球部百年史
●著者 九州大学ローンテニスクラブ・
九州大学硬式庭球部

●発行 ミドリ印刷 (2006年10月刊)

●著者から一言

九大の創立100周年は2011年ですが、わが庭球部は2003年に100周年を迎えました。

九州帝国大学の実質的な創立は1903年の京都帝国大学福岡医科大学の設置で、九大学友会およびその一員たる庭球部の歴史もこの年に始まります。しかし当時の法令が単科の帝国大学を認めていなかったため、正式に(官制上)九州帝国大学になったのは工科大学(工学部)が設置された1911年だったわけです。

この冊子の編纂に当っては史料価値と読みやすさの二兎を追いました。学内では大学文書館と付属図書館の全館、学外では国立国会図書館、福岡県立図書館、福岡市総合図書館、北九州市立八幡図書館に収められますので、ご笑覧ください。 (文責:中山宏明名誉教授)





九州大学
KYUSHU UNIVERSITY